

平成25年度一般会計決算

○決算の概要

平成25年度一般会計の歳入総額及び歳出総額は、予算現額4,166,471千円に対し、歳入総額4,172,252千円、歳出総額3,695,746千円となり歳入歳出差引額（形式収支）は476,506千円（対前年度△32,789千円・6.4%減）となりました。この歳入歳出差引額から翌年度へ繰り越すべき財源74,108千円を差し引いた実質収支は、402,398千円（対前年度△106,897千円・21.0%減）となりました。

単年度収支は△106,897千円（対前年度△185,128千円・236.6%減）となりました。

○歳入決算概要

歳入決算は、4,172,252千円（対前年度357,804千円・9.4%増）となり、構成市からの分担金2,709,908千円（対前年度△113,117千円・4.0%減）が歳入決算の64.95%を占めています。

分担金は、次期し尿処理施設建設事業に伴い建設費分担金は64,394千円（対前年度50,820千円・374.4%増）となりましたが、運営費分担金が2,615,514千円と減少（対前年度△163,937千円・5.9%減）したため全体として減少となりました。

歳入決算の10.62%を占める事業系廃棄物処理手数料については、搬入量が前年度に対し1,957.38トン増量（対前年度14.33%増）したことに伴い443,372千円（対前年度101,968千円・29.9%増）となり、22年度から4年続けて増となりました。

歳入決算の12.21%を占める繰越金509,295千円（対前年度74,836千円・17.2%増）は、全額純繰越金です。前年度の純繰越金に対して、78,231千円（18.1%増）の増額となりました。なお、本年度において事故繰越はないため、前年度に対して△3,395千円（皆減）減額となりました。

その他の歳入について、国庫支出金266,966千円（対前年度152,503千円・133.2%増）は、本年度の特色である、し尿処理施設建設事業に伴う国庫補助金（厚木飛行場周辺し尿処理施設設置助成事業・防衛施設周辺の生活環境の整備等に関する法律第8条に基づく防衛施設周辺民生安定施設整備事業補助金）248,036千円（対前年度145,136千円、141.0%増）となりました。

施設更新計画に伴う循環型社会形成推進交付金18,930千円（対前年度7,367千円・63.7%増）は、ごみ処理施設更新に係る計画支援事業を対象とし、昨年度から継続して実施する施設整備基本計画策定等業務、生活環境影響調査に加え、事業者選定等支援業務、土壌汚染状況等調査業務、求積図作成業務を実施したため増額となりました。

し尿処理施設建設事業に伴う組合債227,700千円（対前年度142,800千円、168.2%増）については、増額となりました。

また、し尿処理施設建設事業に伴う県支出金（神奈川県市町村自治基盤強化総合補助金）13,600千円（対前年度△700千円、4.9%減）は、当該事業に係る特定財源が増額したことにより補助基準額が縮小したため、減額となりました。

（単位：千円）

	25年度 (a)	24年度 (b)	年度比較 (a) - (b)	対前年度 伸率
歳入総額 (A)	4,172,252	3,814,448	357,804	9.4%
歳出総額 (B)	3,695,746	3,305,153	390,593	11.8%
差引額 (A) - (B) (C)	476,506	509,295	△ 32,789	△ 6.4%
翌年度へ繰越すべき財源 (D)	74,108	0	74,108	皆増
実質収支 (C) - (D) (E)	402,398	509,295	△ 106,897	△ 21.0%
単年度収支 (F)	△ 106,897	78,231	△ 185,128	△ 236.6%
繰上償還額 (G)	0	0	0	—
実質単年度 収支 (F) + (G)	△ 106,897	78,231	△ 185,128	△ 236.6%

○歳出決算概要

歳出決算は3,695,746千円（対前年度390,593千円・11.8%増）となりました。

特徴としては、年度内の完成を目指すし尿処理施設建設事業に掛かる経費に重点を置いた他、例年同様、一般廃棄物処理に掛かる経費及び周辺環境への影響を監視するための各種分析業務に掛かる経費等、施設を安全に安定的に稼働させる施設修繕等の施設を運営する管理経費が大きく占めています。

歳出を目的別に考察すると、総務費は408,095千円（対前年度35,903千円・9.6%増）となりました。主なものとして一般管理費では、総務課職員等の人件費181,218千円、最終処分場等の借地料34,139千円、構成市等への交付金94,885千円、財政管理費については、事務棟清掃等に伴う委託料17,308千円、企画費については、施設更新に伴う調査・計画費に伴う委託料50,076千円となりました。総務費が増加した要因は、施設更新に伴う調査・計画費の増額によるものです。

民生費、社会福祉施設費は23,002千円（対前年度△3,221千円・12.3%減）となり、主なものは、本郷老人福祉センター指定管理料20,248千円及び本郷老人福祉センター設備補修1,260千円です。

衛生費は2,995,376千円（対前年度460,091千円・18.1%増）となりました。主なものとして清掃総務費では、施設課職員等の人件費561,445千円、処理施設の光熱水費117,456千円、塵芥処理費では、焼却灰・可燃物処理に伴う一般廃棄物処理539,101千円、廃乾電池等処理に伴う処理困難物処分33,098千円、ごみ処理施設修繕料1,012,374千円、し尿処理費は、し尿処理施設の運転管理委託料29,400千円、し尿処理施設修繕料10,533千円です。し尿処理施設建設費については、施設建設工事486,769千円、施工監理委託29,028千円です。

教育費、体育施設費は125,928千円（対前年度7,840千円・6.6%増）となり、指定管理料97,196千円のほか定期修繕27,913千円が主なものです。

公債費については142,243千円（対前年度△110,010千円、43.6%減）となり、現在借入れている5件の起債の元利償還金です。

なお、平成4年度借入れ屋内温水プール建設事業2件（国1件、県1件）及び平成14年度借入れ焼却灰等積替え保管施設建設工事事業1件の計3件について、平成24年度をもって償還完了したことに伴い減額となりました。

歳入

△印 減額(単位：千円)

款	当初予算額 A	補正等予算額 B	予算現額 A+B	歳入決算額 C	執行率 C/(A+B)
1. 分担金及び負担金	2,746,382	△ 36,474	2,709,908	2,709,908	100.0%
2. 使用料及び手数料	438,039	0	438,039	443,923	101.3%
3. 国庫支出金	265,037	1,929	266,966	266,966	100.0%
4. 県支出金	12,300	1,300	13,600	13,600	100.0%
5. 繰越金	250,000	259,295	509,295	509,295	100.0%
6. 諸収入	963	0	963	860	89.3%
7. 組合債	361,100	△ 133,400	227,700	227,700	100.0%
歳入合計	4,073,821	92,650	4,166,471	4,172,252	100.1%

歳出

△印 減額(単位：千円)

款	当初予算額 A	補正等予算額 B	予算現額 A+B	歳出決算額 C	執行率 C/(A+B)
1. 議会費	1,333	0	1,333	1,102	82.7%
2. 総務費	608,879	△ 145,590	463,289	408,095	88.1%
3. 民生費	25,000	0	25,000	23,002	92.0%
4. 衛生費	3,154,121	33,288	3,187,409	2,995,376	94.0%
5. 教育費	132,083	0	132,083	125,928	95.3%
6. 公債費	142,405	△ 160	142,245	142,243	100.0%
7. 予備費	10,000	205,112	215,112	0	0.0%
歳出合計	4,073,821	92,650	4,166,471	3,695,746	88.7%

決算収支(過去5年間)

(単位：千円)

区 分	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
歳 入	3,650,596	3,649,675	3,690,436	3,814,448	4,172,252
1. 分担金及び負担金	3,050,393	3,029,592	2,987,162	2,823,025	2,709,908
2. 使用料及び手数料	297,117	315,668	337,947	342,004	443,923
3. 国庫支出金	125	2,190	1,461	114,463	266,966
4. 都道府県支出金	0	0	0	14,300	13,600
5. 財産収入	0	0	0	0	0
6. 繰越金	233,565	296,253	358,606	434,459	509,295
7. 諸収入	2,496	5,972	5,260	1,297	860
8. 組合債	66,900	0	0	84,900	227,700
歳 出	3,354,343	3,291,069	3,255,977	3,305,153	3,695,746
1. 人件費	855,987	832,491	827,351	786,883	744,072
2. 扶助費	0	7,193	7,725	6,810	6,430
3. 物件費	1,017,574	1,090,779	1,111,222	1,076,802	1,133,482
4. 維持補修費	997,951	984,482	935,612	867,339	1,053,501
5. 補助費等	74,182	106,626	102,904	101,570	100,221
6. 普通建設事業費	92,966	7,570	365	213,496	515,797
7. 災害復旧事業費	0	9,708	18,545	0	0
8. 公債費	315,683	252,220	252,253	252,253	142,243

歳出を性質別に考察すると、義務的経費は892,745千円(対前年度△153,201千円・14.6%減)となりました。

主なものでは、公債費が142,243千円(対前年度△110,010千円・43.6%減)であり、汚物処理施設改造事業及び温水プール建設事業に係る借入の償還終了に伴い減額となりました。

人件費744,072千円(対前年度△42,811千円・5.4%減)であり、退職に伴い減少しています。なお、人件費は近年減少傾向が続いています。

扶助費6,430千円(対前年度△380千円・5.6%減)については例年並みで推移しています。

投資的経費は515,797千円(対前年度302,301千円・141.6%増)は、今年度の特色であるし尿処理施設建設事業が主なものとなります。

その他としましては、物件費1,133,482千円(対前年度56,680千円・5.3%増)となり、主なものでは、焼却灰等の溶融に掛かる一般廃棄物処理経費539,101千円(対前年度24,023千円・4.7%増)、廃乾電池等の処理困難物処理経費33,098千円(対前年度1,289千円・4.1%増)、最終処分場等の借地料34,139千円(対前年度、増減なし)及び本郷老人福祉センター・高座施設組合屋内温水プール指定管理料117,444千円(対前年度△618千円・0.5%減)となります。

物件費が増額した理由は、ごみ処理施設更新計画に係る事業費の増額に伴い施設更新計画45,498千円(対前年度27,450千円・152.1%増)、事業系廃棄物搬入量の増及び構成市外からの一般廃棄物受入に伴い一般廃棄物処理539,101千円(対前年度24,023千円・4.7%増)、施設から排出される焼却灰、汚泥及び不燃残渣等運搬・積込業務の委託化に伴い焼却灰等運搬積替18,428千円(皆増)によるものです。

維持補修費は1,053,501千円(対前年度186,162千円・21.5%増)となりました。主なものは、ごみ焼却施設、粗大ごみ処理施設及びし尿処理施設等の修繕のほか、本郷老人福祉センター、屋内温水プール修繕です。

維持補修費が増額した理由は、既存ごみ処理施設を平成30年度まで継続使用するため、触媒反応塔及びバグフィルター整備を実施したためです。

補助費等は100,221千円(対前年度△1,349千円・1.3%減)となり、周辺関係団体への負担金、補助金のほか、施設更新に伴い構成市からの派遣職員等に掛かる構成市への交付金が主なものです。

○廃棄物等の搬入概要

平成25年度の構成市全体人口は、342,509名（対前年度495名・0.1%増）となりました。
 ごみ搬入量は、全体で74,931t（対前年度942t・1.3%増）となり、内訳としては、可燃物（家庭）56,549t（対前年度△934t・1.6%減）、可燃物（事業系）15,613t（対前年度1,957t・14.3%増）、不燃物1,546t（対前年度△56t・3.5%減）、粗大ごみ1,223t（対前年度△25t・2.0%減）となりました。
 なお、粗大ごみ処理施設に搬入された不燃物等から不燃物総搬入量の5.9%に相当する163t（対前年度△46t・22.0%減）の磁性物等が資源化物として回収されました。
 し尿搬入量は、全体で13,894kl（対前年度86kl・0.6%増）が搬入され、内訳としては、生し尿2,502kl（対前年度△302kl・10.8%減）、浄化汚泥11,392kl（対前年度388kl・3.5%増）となりました。

◎構成市の人口

区分	平成25年度	平成24年度	増減	伸率
海老名市	129,288名	128,470名	818名	0.6%
座間市	129,323名	129,840名	△517名	△0.4%
綾瀬市	83,898名	83,704名	194名	0.2%
計	342,509名	342,014名	495名	0.1%

◎ごみ搬入状況

区分	平成25年度	平成24年度	増減	伸率
可燃物	56,549t	57,483t	△934t	△1.6%
不燃物	1,546t	1,602t	△56t	△3.5%
粗大	1,223t	1,248t	△25t	△2.0%
事業系	15,613t	13,656t	1,957t	14.3%
計	74,931t	73,989t	942t	1.3%

◎し尿搬入状況

区分	平成25年度	平成24年度	増減	伸率
生し尿	2,502kl	2,804kl	△302kl	△10.8%
浄化汚泥	11,392kl	11,004kl	388kl	3.5%
計	13,894kl	13,808kl	86kl	0.6%

○付帯施設の利用概要

平成18年度に指定管理者制度を導入した本郷老人福祉センター及び高座施設組合屋内温水プールは、平成23年度から指定管理者の更新をしています。
 平成25年度の本郷老人福祉センターの利用状況は、8,189名（対前年度421名・5.4%増）となり、内訳は、海老名市4,658名、座間市1,494名、綾瀬市2,037名となりました。
 利用者が増加している理由としては、送迎バスを土日も運行するようにしたこと、他施設の有料化により新規団体が増えていることによるものです。
 屋内温水プールは138,595名（対前年度△756名・0.5%減）となりました。
 利用者が減少している理由としては、台風・積雪の影響により臨時休館及び短縮営業をしたことによるものです。
 なお、平成5年度に開館した屋内温水プール利用者累計は、平成26年3月末日現在で2,677,214名（男性1,356,365名：女性1,320,849名）となりました。

◎本郷荘利用状況

		平成25年度		平成24年度		利用者数比較	
		利用者数	利用件数	利用者数	利用件数	増減	伸率
海老名市	男性	2,382名	157件	2,387名	153件	△5名	△0.2%
	女性	2,276名		2,278名		△2名	△0.1%
	計	4,658名		4,665名		△7名	△0.2%
座間市	男性	588名	51件	565名	51件	23名	4.1%
	女性	906名		877名		29名	3.3%
	計	1,494名		1,442名		52名	3.6%
綾瀬市	男性	841名	58件	693名	49件	148名	21.4%
	女性	1,196名		968名		228名	23.6%
	計	2,037名		1,661名		376名	22.6%
合計	男性	3,811名	266件	3,645名	253件	166名	4.6%
	女性	4,378名		4,123名		255名	6.2%
	計	8,189名		7,768名		421名	5.4%

◎温水プール利用状況

区分	平成25年度	平成24年度	増減	伸率
男性	71,958名	72,751名	△793名	△1.1%
女性	66,637名	66,600名	37名	0.1%
計	138,595名	139,351名	△756名	△0.5%

平成26年度執行状況(26年9月30日現在)

歳入 (単位：千円)

款	予算現額	収入済額	執行率
1. 分担金及び負担金	2,623,746	1,254,674	47.8%
2. 使用料及び手数料	400,742	201,565	50.3%
3. 国庫支出金	6,638	0	0.0%
4. 県支出金	12,300	0	0.0%
5. 繰越金	324,108	476,506	147.0%
6. 諸収入	873	360	41.2%
7. 組合債	219,600	0	0.0%
歳入合計	3,588,007	1,933,105	53.9%

歳出 (単位：千円)

款	予算現額	支出済額	執行率
1. 議会費	1,210	302	25.0%
2. 総務費	447,543	112,205	25.1%
3. 民生費	20,870	8,693	41.7%
4. 衛生費	2,643,985	702,126	26.6%
5. 土木費	193,033	434	0.2%
6. 教育費	129,951	39,268	30.2%
7. 公債費	141,415	78,882	55.8%
8. 予備費	10,000	0	0.0%
歳出合計	3,588,007	941,910	26.3%

平成26年度高座清掃施設組合の当初予算は、35億1,389万9千円でしたが、前年度から繰り越された逓次繰越繰越額12,108千円、繰越明許費繰越額62,000千円を加え35億8,800万7千円となりました。

一般会計歳入歳出予算の平成26年9月30日現在の執行状況については、歳入予算が予算現額に対し収入率53.9%・19億3,310万5千円となっています。

9月末において執行率が低いものの主な理由としては、し尿処理施設解体工事に係る県支出金、周辺環境整備事業、組合債、施設更新に伴う調査・計画費に係る国庫支出金です。これらの特定財源は、完了後において、実績報告等の手続き後、入金される予定です。

歳出予算の予算現額に対する平成26年9月30日現在の執行状況は、26.3%・9億4,191万千円となっています。

9月末において執行率が低い主な理由としては、周辺環境整備事業に係る用地購入について、現在、地権者と交渉段階であり、既設ごみ、し尿処理施設の施設修繕が年度末までとなっている契約案件が多いためです。負担行為済額は、対予算現額48.0%・17億2,221万1千円となっています。

財産などの状況

組合債現在高 (単位：千円)

区分	平成26年3月31日	平成26年4月1日～平成26年9月30日		平成26年9月30日
	現在高	借入額	元金償還額	現在高
ごみ処理施設	229,808	0	67,196	162,612
し尿処理施設	79,474	227,700	9,937	297,237
計	309,282	227,700	77,133	459,849

平成26年3月31日現在の借入れ件数は5件となりますが、平成25年度に借り入れた、し尿処理施設建設工事に伴う起債について、借入日が平成26年5月27日のため、平成26年4月1日から平成26年9月30日までの借入額として記載しています。

財産(平成26年9月30日現在) (単位：㎡)

区分	土地	建物
清掃処理場	56,527.19	15,952.46
本郷老人福祉センター	2,592.47	779.09
埋立処分地	4,485.01	453.23
計	63,604.67	17,184.78

平成26年9月30日までの期間における組合所有財産(土地及び建物)については、変動はありませんでした。

今後については、旧し尿処理施設解体工事に伴い変動が想定されます。